



2013年3月期 決算説明資料

2013年5月29日

東京日産コンピュータシステム株式会社
代表取締役社長 今泉 真一郎



2013年3月期 決算概要

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容は、当社が判断した種々の前提及び仮定に基づいたものであり、記載された将来の計画、目標数値、施策の実行を確約または保証するものではありません。

実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な不確定要因により、計画数値と異なる可能性があります。



2013年3月期 業績概要



Total Customer Satisfaction

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前年同期比	
売上高	7,998	6,713	-1,285	-16.1%
営業利益	232	219	-13	-5.7%
経常利益	233	217	-16	-7.0%
当期純利益	118	401	+282	+238.0%

売上高 営業利益率	2.9%	3.3%
--------------	-------------	-------------



売上高6,713百万円(前期比▲16% 減収)

第3四半期

ヨーロッパ・ユーロ圏を起点とした海外経済の減速、反日デモの影響等で、お客様のIT投資は引き締め傾向となった。

第4四半期

第3四半期の取り返しを図るべく、早期案件確保を目指した営業活動展開したが、第三四半期の落とし込みを回復させるまでの売上高を確保出来なかった。

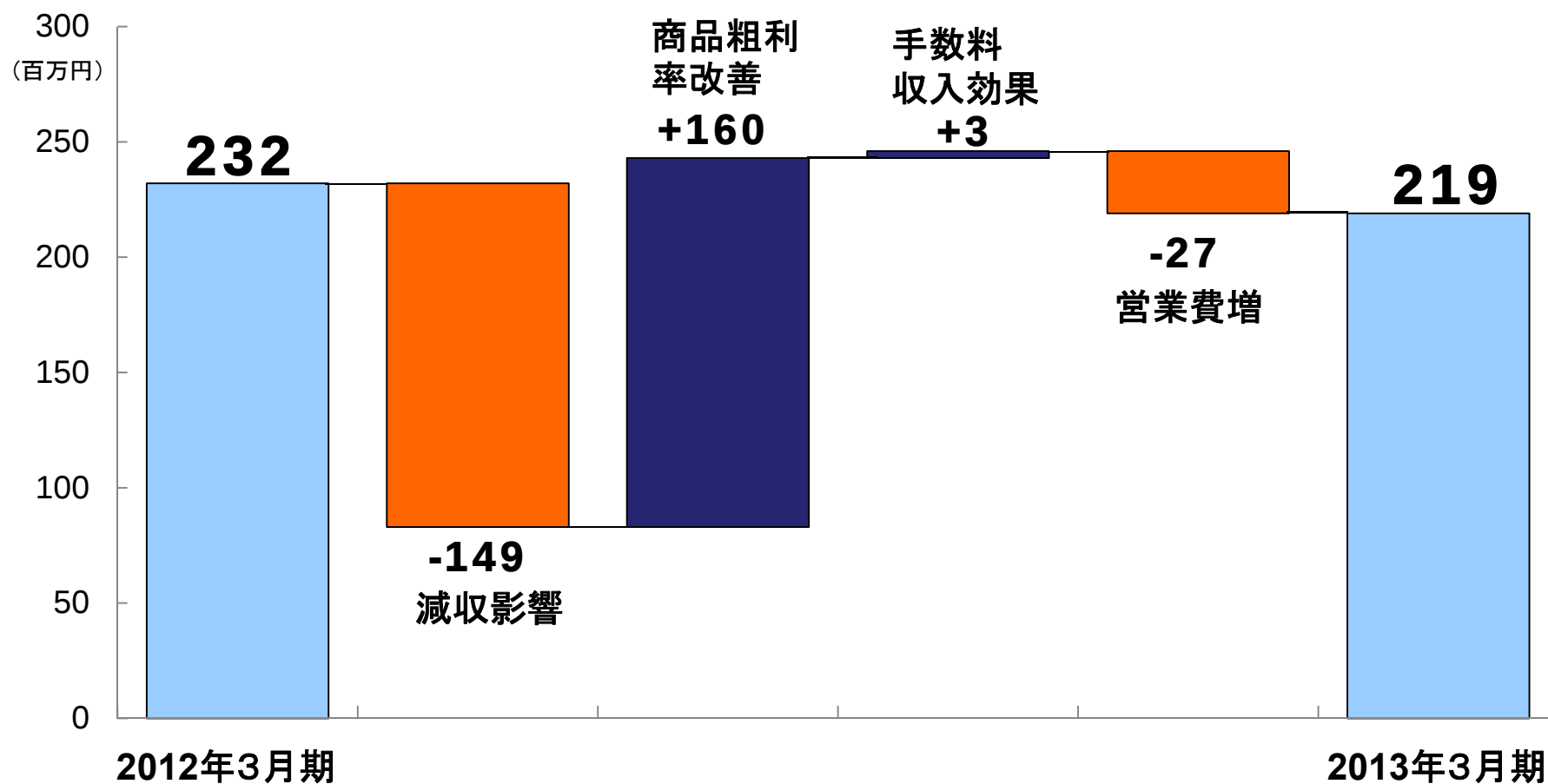
営業利益219百万円(前期比▲6% 微減)

当期純利益401百万円(前期比+238%増益)

過年度における関係会社株式評価損が税務上認容され、税務上の欠損金が発生し、繰延税金資産を計上したことから税金費用が減少。



前期比 13百萬元減益





貸借対照表



Total Customer Satisfaction

(単位: 百万円)

	2012/3	2013/3	増減
(資産の部)			
流動資産	3,303	2,916	-387
現金及び預金	974	1,144	+169
売掛金	1,838	1,350	-487
商品	210	21	-189
繰延税金資産	46	134	+88
その他	233	265	+31
固定資産	645	561	-83
有形・無形固定資産	218	213	-5
投資その他の資産	427	348	-78
関係会社株式	180	-	-180
繰延税金資産	137	228	+91
資産合計	3,948	3,477	-470

	2012/3	2013/3	増減
(負債の部)			
流動負債	1,993	1,151	-841
買掛金	1,380	633	-747
未払法人税等	62	1	-61
その他	549	515	-33
固定負債	287	288	+1
負債合計	2,280	1,439	-840
(純資産の部)			
株主資本	1,665	2,029	+363
資本金	867	867	-
資本剰余金	447	447	-
利益剰余金	350	714	+363
評価・換算差額等	2	8	+6
純資産合計	1,668	2,038	+369
負債・純資産合計	3,948	3,477	-470



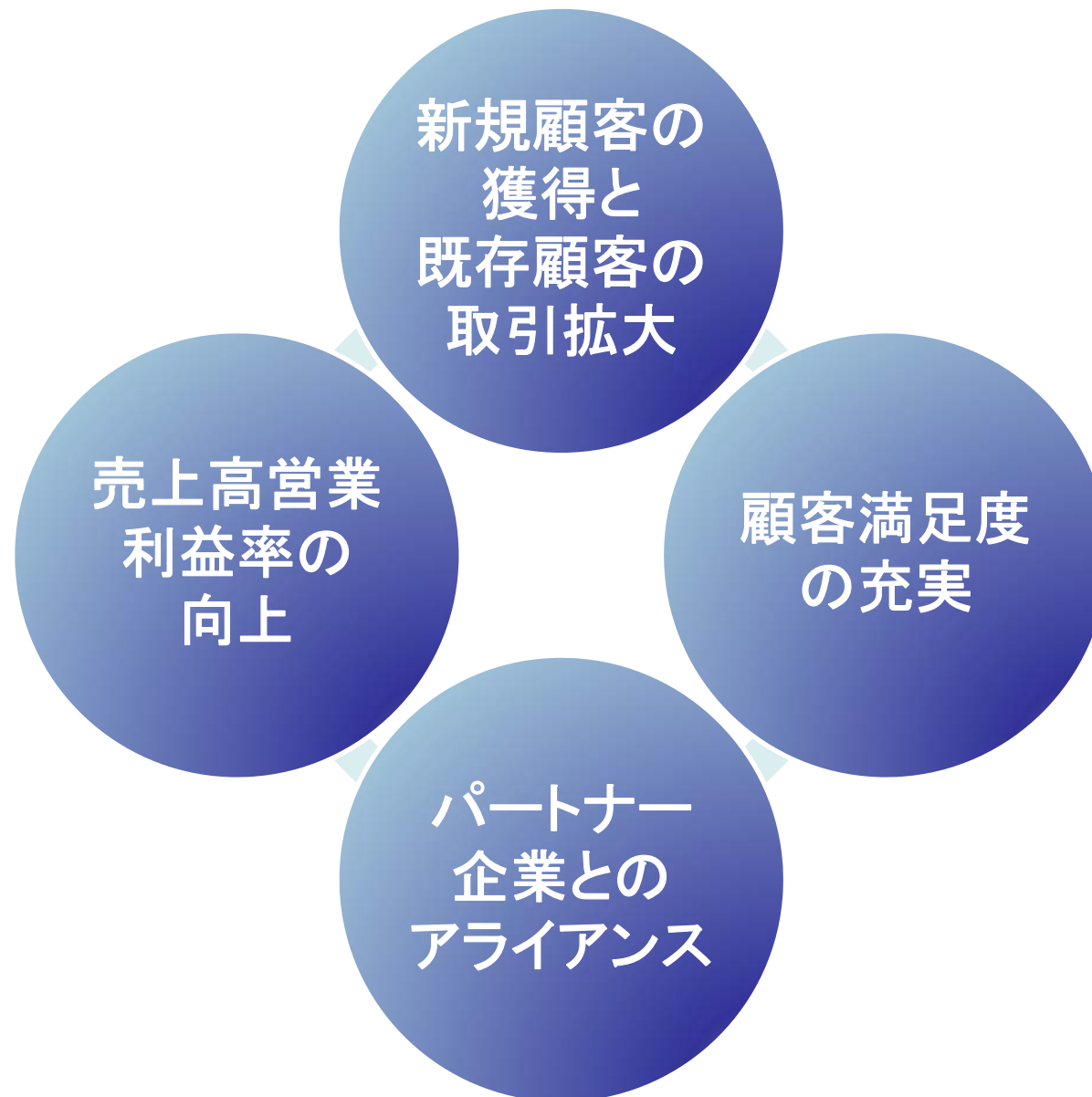
キャッシュ・フロー



Total Customer Satisfaction

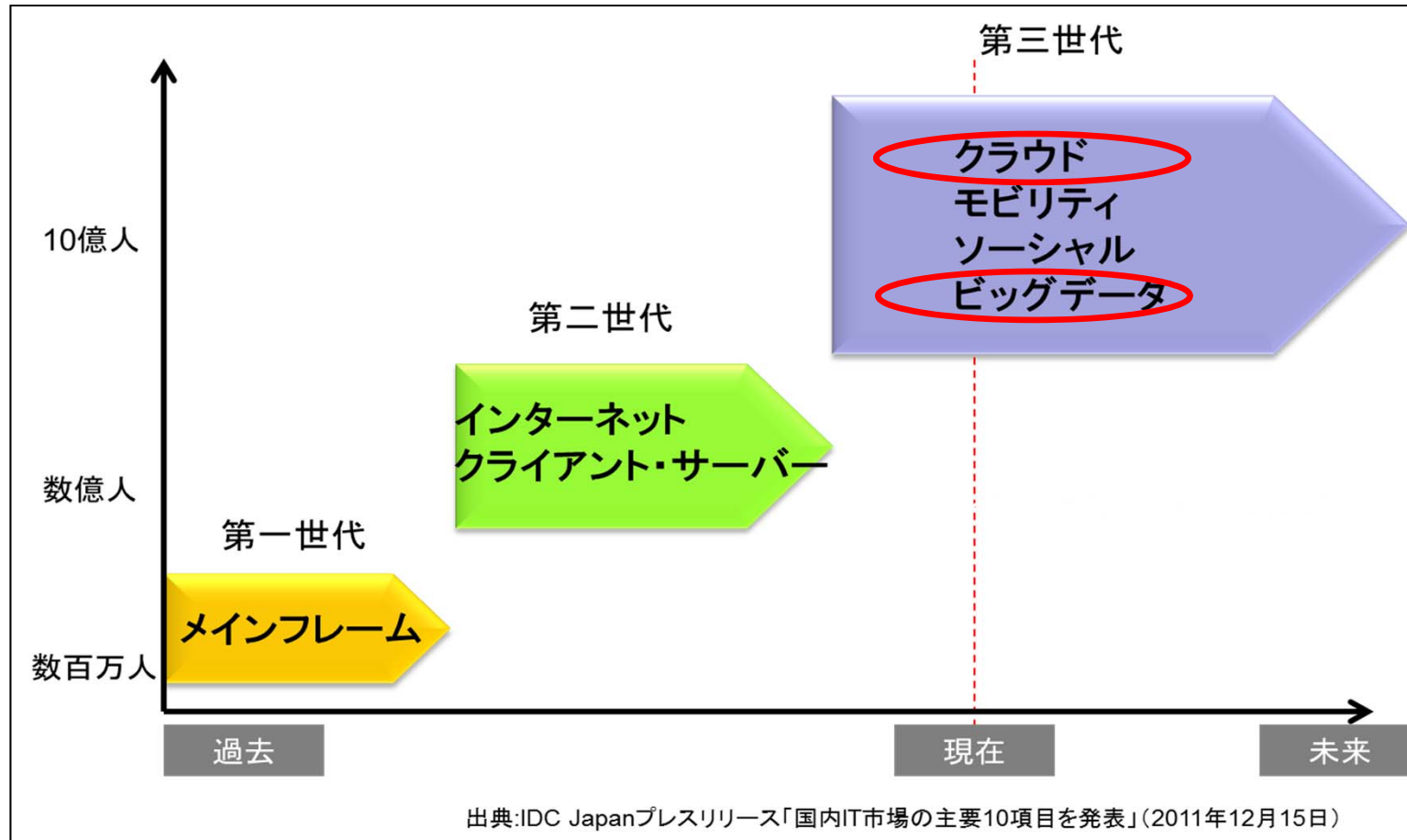
(単位:百万円)

	2013/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	110
税引前当期純利益	220
売上債権の増減額(▲は増加)	453
たな卸資産増減額(▲は増加)	187
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲729
その他	▲21
投資活動によるキャッシュ・フロー	117
有形・無形固定資産の取得による支出	▲67
関係会社株式の売却による収入	184
その他	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲58
配当金の支払額	▲38
割賦債務の返済による支出	▲14
リース債務の返済による支出	▲6
現金及び現金同等物の増加額	169
現金及び現金同等物の期首残高	974
現金及び現金同等物の期末残高	1,144





新規顧客の獲得と既存顧客の取引拡大

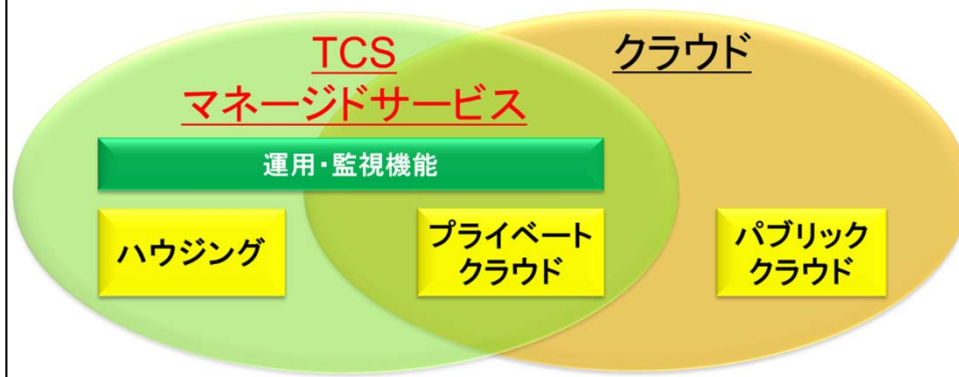


IT市場環境は、第3世代へ大きく変化し、結果、高度なIT環境をより安価に利用できる環境が整いつつある。



新規顧客の獲得と既存顧客の取引拡大

当社の考えるクラウド＝マネージドサービス



当社は、長年培ってきた大規模インフラの仮想化統合技術とその豊富な実績により、クラウド技術を軸としたマネージドサービスやビッグデータといった第3世代プラットフォームを提供していくことにより、顧客価値の創造に貢献することを経営戦略としております。

当社のビッグデータビジネス

ビッグデータ アナリティックス・サービス

ビッグデータ プラットフォームの提供

ビッグデータ ソフトウェアの提供

顧客の理解→検証→モデリング→構築→導入

のビッグデータアナリティックス・サービスからビッグデータ関連ソフトウェアの単体提供まで幅広くカバーしていく。



売上高営業利益率の向上

業務プロセスの改善による原価低減

- ・時間短縮
- ・品質向上
- ・内製化の促進

第3世代プラットフォームの提供

- ・モデルミックスの改善



パートナー企業とのアライアンス

顧客の様々なニーズに対応するため、日本アイ・ビー・エム株式会社との協業関係は引き続き堅持していくことはもちろんのこと、卓越したソリューションを持った協力会社とのアライアンスによるシナジー効果を発揮し、積極的な事業展開を推進してまいります。

当社は、ハイエンド・ストレージによる仮想化統合の技術力を高く評価され、「IBMエクセレント・パートナー・アワード JAPAN 2012」において、「Information Infrastructure イノベーション・パートナー」を受賞しました。パートナーアワードは4年連続の受賞となりました。





顧客満足度の充実

基本理念

「お客様へ最大のご満足を」

それが私達の願いです

企業ビジョンと行動指針(①～④)

①お客様の理解に
努めます

②最適なIT資源を
提供します

最も安心してITインフラを任せられる企業

③最新の技術経験を
提供します

④最新の製品を
お届けします



2014年3月期 通期業績見通し



Total Customer Satisfaction

(単位: 百万円)

	2013年3月期 (実績)	2014年3月期 (予想)	前年同期比	
売上高	6,713	6,500	-213	-3.2%
営業利益	219	246	+26	+12.0%
経常利益	217	246	+28	+13.3%
当期純利益	401	130	-270	-67.4%

売上高 営業利益率	3.3%	3.8%
--------------	-------------	-------------



ITインフラビジネスの堅持

当社は豊富な経験をもとに、顧客のITインフラ環境見直し提案を積極展開。

マネージドサービスの拡販

企業は情報システム要員不足や情報システムの効率的利用を模索。高信頼性、様々な運用ニーズに柔軟性のあるクラウドサービス＝マネージドサービスの提案。

シンククライアントの開拓

情報漏えいリスク対策やBCP対策として情報セキュリティ強化のためのシンククライアントの提案。

ビッグデータビジネスの創出

コンピューティングコスト低減と高付加価値ソフトの発展。ビッグデータ技術を利用し顧客の攻めの一手に貢献する提案。

グローバルニーズへの対応

経済のグローバル化に伴い、ASEAN地区の需要に第一優先で取り組む。

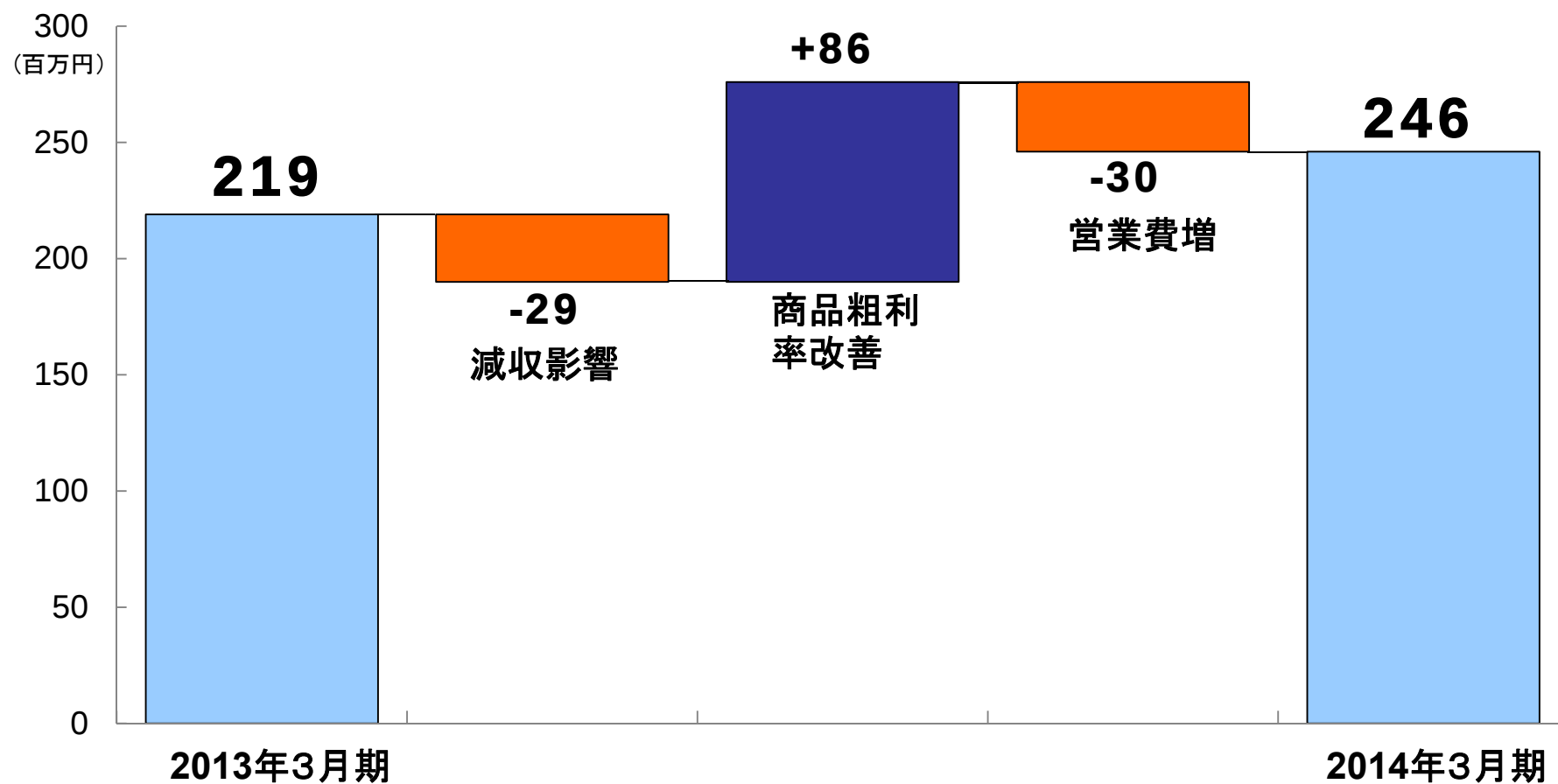


2014年3月期營業利益增減要因見込



Total Customer Satisfaction

前期比 26百万円増益



	2013年3月期	2014年3月期 (予想)
期 末 配 当 金 1 株 に つ き	5,000円	50円

全国証券取引所公表の「売買単位の集約に向けた行動計画」に趣意を踏まえ、1株を100株に分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたします。

1. 分割の方法

2013年9月30日(月)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき100株の割合をもって分割いたします。

2. 分割の日程

- ①分割の公告日 2013年9月13日(金)
- ②分割の基準日 2013年9月30日(月)
- ③分割の効力発生日 2013年10月1日(火)

3. 単元株制度の採用

株式の分割の効力発生日をもって単元株制度を採用し、単元株式数を100株とします。

本株式の分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はございません。



中期経営計画目標



Total Customer Satisfaction

(単位: 百万円)

	2013年3月期 (実績)	2014年3月期 (見込)	2016年3月期 (目標)
売上高	6,713	6,500	9,000
営業利益	219	246	450
売上利益率	3.3%	3.8%	5.0%



会社概要



Total Customer Satisfaction

(2013年3月31日現在)

商 号	東京日産コンピュータシステム株式会社 TOKYO NISSAN COMPUTER SYSTEM CO.,LTD
事 業 内 容	情報システム関連事業
所 在 地	(本店) 東京都渋谷区恵比寿1-18-18 東急不動産恵比寿ビル3階 (江東事業所) 東京都江東区東砂7-19-31 東京日産江東ビル2階
設 立 年 月 日	1989年3月3日
役 員 構 成	代表取締役社長 今泉 真一郎 専務取締役 吉丸 弘二郎 取締役 佐藤 浩之 取締役 赤木 正人 常勤監査役 小倉 弘行 監査役 松尾 憲治 監査役 小川 和洋
資 本 金	8億6,774万円
従 業 員 数	118名
決 算 期	3月
主 要 株 主	日産東京販売ホールディングス株式会社

1982年	昭和57	3月	東京日産自動車販売株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社と特約店の基本契約締結 コンピュータ事業部発足
1989年	平成1	3月	東京日産自動車販売株式会社コンピュータ事業部を分社独立 東京日産コンピュータシステム株式会社設立(略称TCS) 資本金8千万円
2001年	平成11	1月	IBM e-businessパートナー認定 コンピュータ用品販売事業スタート
2004年	平成16	3月	JASDAQ市場上場 増資6,375万円、新資本金5億4,375万円
		5月	「ISO 9001 2000」認証(審査登録)
		9月	増資3億2,399万円、新資本金8億6,774万円
2005年	平成17	3月	「ISMS認定基準(Ver2.0)」認証取得
2006年	平成18	3月	人材派遣会社「株式会社キャリアセンター」子会社化
		4月	「ISO27001」認証取得
2008年	平成20	3月	「ISO20000」認証取得
2010年	平成22	3月	IBM エクセレント・パートナー・アワード Japan受賞
2011年	平成23	11月	渋谷区恵比寿へ本社移転
2012年	平成24	2月	IBM エクセレント・パートナー・アワード Japan受賞
		3月	IBM Beacon Awards Finalist に選任
		12月	人材派遣会社「株式会社キャリアセンター」株式売却
2013年	平成25	1月	IBM エクセレント・パートナー・アワード Japan受賞
		4月	IBM2013年プレミアビジネスパートナー認定(2001年、2003年～2013年11年連続受賞)